

道南初「多文化共生推進員」をHIFに ～外国人とともに生きる社会のために～

11月16日(月)着任 (配置先:北海道国際交流センター(HIF))

北海道では全国を上回るスピードで人口減少が進行し、人手不足が深刻化しています。そして、地域の持続的な発展のためには外国人材の受け入れは避けて通れない課題となっています。

このため、外国人が安心して働き、暮らすことが出来る環境づくり、まちづくりを目指して、解決すべき課題に取り組むことが求められています。

JICAでは、これまで、北海道における外国人材の現状と課題に関する調査や、新型コロナウイルスが外国人材に与えた影響についての調査を実施したり、日本初の「責任ある外国人労働者受入れプラットフォーム」を設立するなど、多文化共生推進に向けた取組みを行ってきました。

今般、北海道(特に渡島・檜山管内)における外国人材活用や多文化共生の取組みを推進するとともに、JICAが実施する国際協力事業を通じて地域に貢献するため、11月16日から新たに、「国際協力推進員(外国人材・共生)」を(一財)北海道国際交流センター(HIF、函館市)に配置することとなりました。多文化共生担当の推進員の配置は今年度からの取組みで、年度内に全国に約10名配置予定、道東では10月から1名が北見市役所で活動しています。

【関連リンク】

「北海道における外国人材の現状・課題等に関する調査報告書」

<https://www.jica.go.jp/sapporo/topics/2020/20200417.html>

「北海道における新型コロナウイルス感染拡大による外国人材への影響調査」

<https://www.jica.go.jp/sapporo/topics/2020/20200717.html>

「責任ある外国人労働者受入れプラットフォーム」の設立について

https://www.jica.go.jp/press/2020/20201016_20.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA北海道(札幌) 市民参加協力課 近藤

TEL011-866-8421 e-mail: Kondo.Nobutaka@jica.go.jp